



コロナの旅のお話やります

こさかだより Vol.16

立憲民主・無所属 千葉市議会議員団 小坂さとみ
《令和8年第1回定例会報告書 2026年春号》

幕張新都心市?! 「近くて遠い街」を、稲毛から「ふらっと訪れたい街」へ。

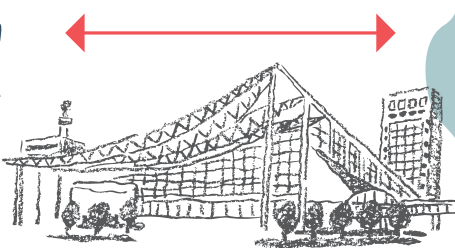
～非日常の興奮と、日常の心地よさが溶け合う幕張新都心へ～

表向き

- ・多機能な拠点
- ・計画的な都市基盤
- ・多彩なスポーツやイベント
- ・「ハレ」と「ケ」の共存



幕張新都心



市民の声

- ・車でしか行けない場所
- ・移動と混雑で疲れる
- ・スポーツ観戦やイベントの開催地
- ・無機質で自分に関係ない



移動のハードルが高く、「ハレの日」の街という疎外感が市民の皆様の心理的な距離が開いてしまっている

千葉市が立てた

幕張新都心まちづくり将来構想とは?

目指す姿 (コンセプト)

「ハレ」と「ケ」の共存

スポーツ・イベントなどの非日常(ハレ)と、日常の暮らしや仕事(ケ)が豊かに混ざり合う環境づくり。

ウェルビーイングな空間

訪れる誰もが豊かさを実感でき、市民が「自分たちの街だ」と誇りを持てる空間の実現。

主な取り組みの方向性

回遊性・滞在快適性の向上

既存の広大な道路空間や広場(パブリックスペース)の質を高め、歩行や滞在のしやすさを重視した「ヒューマンスケール(人間サイズ)」の空間づくり。

歩きたくなるまちづくり

新アリーナ整備やマリスタジアムの再構築と連動し、官民連携で歩きたい環境を創出する。

アクセスの最適化

シェアサイクルの活用やデジタル技術を用いた運行情報の提供により、公共交通の利便性を高め、心理的ハードルを下げる。

小坂の実現したいこと

今、壁を感じている市民の皆さまにも居心地の良い街にしたい

稲毛区の皆さまに伝えたい 「小坂の3つのこだわり」

稲毛区民にとって幕張が「他人事」でなくなるために、私は以下の提案をしています。

1 「座るだけで心が整う」場所を

今の幕張は、次のベンチまでが遠すぎませんか？無機質なコンクリートではなく、木のぬくもりを感じるベンチや、ふとした瞬間に季節の香りがする植栽。「用事がなくても、あそこのベンチで本を読みたいから行く」。そんな、五感に響く空間づくりを求めています。

2 巨大な「イベント屋」から「日常の癒やし」へ

スタジアムやアリーナといった「ハレ（非日常）」の熱気も大切です。でも、それが無い普通の日（ケ）も同じくらい大切です。「夜道を歩くのが楽しみになるような、柔らかな照明がある」「芸術・文化を体験できる、歩くだけでたのしい日常」そんな、「質の高い普通の日」を訪れた稲毛区の皆様に感じてほしい。

3 「おまかせ」ではなく「みんなで育てる」

「私たちが知恵を出し、手入れに関わる街」へ。

稲毛区には、長年この街を支えてきた皆さまの豊かな経験と知恵があります。例えば、街の花壇をデザインしたり、美しさを保つメンテナンスに関わったり。自分たちの手が加わった街には、自然と愛着が湧くものです。「私たちの幕張」と胸を張れる仕組みを作ります。



鮮やかでカラフルなシェアサイクル



街並みに溶け込む緑とスタイリッシュなデザインのゴミ箱

小坂の提言

幕張新都心は今、新アリーナやスタジアム再構築という大きな転換期を迎えています。だからこそ、巨大な「ハコモノ」を造るだけでなく、**市民一人ひとりの愛着が折り重なるような、日本一スタイリッシュで温かな街へと進化させたい。**そのため、私はこれからも皆さまの声を届けてまいります。

なぜ私がこれほどまでに「日常の質」や「空間のデザイン」にこだわるのか。その原点は、南米コロンビアを訪れた際に目にした、ある光景にあります。

そこには、家々の壁を伝うバラの茎が屋根まで届き、街全体が花の香りに包まれているような、生命力あふれる空間がありました。巨大な壁面にはダイナミックなアートが描かれ、それ自体が人の足を止め、対話を生む目的地となっていました。中でも印象的だったのは、設置されたカラフルなベンチです。それはただ置かれているのではなく、木々の間から美しい海を眺められる「絶妙な位置」に、座る人の休息を慈しむような意図を

持って置かれていました。

こうした「情緒」や「遊び心」こそが、無機質になりがちな都市に体温を吹き込む正体ではないでしょうか。特別なイベントがなくても、ただ歩くだけで心が潤う。そんな世界の感性を取り入れた「五感に響く街」を、この幕張の地でも実現したいと考えています。

壁面に這うバラとダイナミックなアート



エピソード



海を眺められるカラフルなベンチ

大きな障壁となっている「交通の便」改善に対して、バスロータリー拡張を始め、提言して参ります！



① 市政に関するご意見をお寄せください

【事務所】

千葉市稲毛区柏台 1-4-603

090-8534-8723

sk.kosaka@gmail.com

サポーター募集中！

Facebook



WEB

